

令和 6 年 4 月 22 日

## 先端科学・医学・工学の倫理課題に取り組み、 国際的に活躍できる応用倫理学の専門家を育成します

～大学院人間社会科学研究所に「上廣応用倫理学講座」

寄附講座を 4 月 1 日に設置～

- 令和 6 年 4 月 1 日付で、公益財団法人上廣倫理財団（東京都千代田区三番町 6-3）（※）のご寄附により、大学院人間社会科学研究所に寄附講座、「上廣応用倫理学講座（Uehiro Division for Applied Ethics）」を設置しました。
- 本講座のミッションは、先端的な科学・医学・工学分野の倫理的・法的・社会的課題を検討し、近・遠未来を見据えたより良い社会を創造することです。
- 先端的な科学・医学・工学は、さまざまな倫理的・法的・社会的課題を生み出します。そうした諸課題に対峙するという社会的要請に十分に応え、「責任ある科学技術の開発」を進めるためには、応用倫理学の専門家を育成する研究・教育拠点が不可欠です。本講座は、そうした役割を担う世界的拠点となることを目指します。

### 広島大学／上廣応用倫理学講座（2024.4 - 2029.3）



## 近・遠未来を見据えた、より良い社会の創造

#### 現状の認識と背景

- 科学・医学・工学の飛躍的発展 ⇒ 倫理的課題の多様化
- 国際的なガバナンスへの期待 ⇒ 日本のプレゼンス低下
- 応用倫理学専門家の需要増 ⇒ 専門家人材の不足

#### 目指すべき講座像

- 先端科学技術の多様な倫理的課題に応える専門家育成
- 国内外での「応用倫理学の専門家」のロールモデル発信

01



#### 人材確保・育成

- 魅力的な研究環境
- 若手研究者の掘り起こし
- 広範な教育・啓発

02



#### 安定した知識生産

- 効果的な研究・教育活動
- 世界レベルの研究成果の発信

03



#### 国際連携

- 国際共同研究の推進
- 国際研究拠点として地位確立



#### 世界レベルの研究グループ構築

国内有数の研究拠点としてのハブ機能創出

国際的な応用倫理学研究への参画促進

### 背景

現代における科学・医学・工学の飛躍的な発展は、人類社会に大きく貢献するとともに、さまざまな倫理的・法的・社会的課題（ethical, legal, and social issues: 以下 ELSI）を生み出しています。そのため、世界各国の大型研究プロジェクトでは、ELSI の検討が重視されつつあり、「応用倫理学の専門家」への期待が世界的に高まっています。

特に、先端科学技術は世界規模で研究されるため、それに伴う ELSI への取り組み（ガバナンス）も国際的であることが求められています。日本も、責任

ある科学技術立国として、そうした国際的ガバナンスへの積極的な参画が期待されます。

## 目指す講座像

本講座は、こうした期待に対して、3つの取り組みによって応えます。

### 【人材確保・育成】

- 若手をはじめとする多様な研究者にとって魅力的な研究環境を整備することで、社会からの要請に応える応用倫理学の専門家を広島に集結させ、世界レベルの研究者へと育成し、幅広いセクターに輩出します。

### 【安定した知識生産】

- 人文社会系領域では稀少な試みとして、講座メンバーが「チーム」として研究プロジェクトを推進する体制を構築し、応用倫理学分野の研究に効率的かつ生産的に取り組みます。

### 【国際連携】

- 広く海外の研究機関との連携や、若手研究者をはじめとする研究者の短中期の相互派遣を通じて、国際的な共同研究を強力に推進します。それにより、応用倫理学分野における国際的拠点構築します。

## 先端的な科学・医学・工学分野で生じる多様な ELSI と本講座の取組み（例）

### ①脳オルガノイド研究に伴う ELSI の検討

脳オルガノイドとは、試験管内で多能性幹細胞（ES 細胞、iPS 細胞）等から作られる立体的な脳組織です。本講座では、動物への移植やコンピュータとの接続など幅広い利用法を視野に入れながら、脳オルガノイド研究に伴う ELSI を検討し、将来の研究を導く倫理的・法的な枠組みを提言します。

### ②人・動物・農作物へのゲノム編集に伴う ELSI の検討

広島大学は、国内有数のゲノム編集技術の研究・教育拠点です。本講座では、学内のゲノム編集研究者との密接な協力関係のもと、人・動物・農作物のゲノム編集に伴う ELSI の包括的な検討を行い、この新興技術が安心・安全に社会に受け入れられる環境整備に実行的な形で貢献します。

### ③AI 技術に伴う ELSI の検討

近年の AI 技術の急速な発展は、社会にさまざまな可能性と懸念を生じさせています。本講座ではまず、生成 AI を含む AI 技術の医療や教育への応用、ビッグデータの利活用を中心に据え、それらの倫理的課題を明らかにします。AI 技術の医学教育への応用は、とりわけ教育学・教育哲学に伝統的に強みをもつ広島大学の特性を生かした論点設定であり、AI 倫理をめぐる国際的議論の中で独自の地位を確立します。

## 広島大学から世界へ

本講座は、「広島大学の研究教育機関」と「国際的研究拠点」という2つの顔を持ちます。そこで本講座で取り組むプロジェクトは、広島大学の研究開発に密接に関連するものと、国際的に重要性の高いものとを、両輪として採用します。

本講座は、広島大学内の各部局・研究科との連携、また地域社会との関係を重視しながら、先端科学技術の国際的ガバナンスに対する貢献を広島から強力に進めていきます。

（※）公益財団法人上廣倫理財団：1987年4月に設立された学術・学校・社会文化に

おける倫理に関連する教育及び研究の振興と人材育成を目的とする日本の公益法人。応用倫理の寄附講座は、広島大学以外にオックスフォード大学、東京大学、京都大学に設置されており、本学は 4 例目。

【お問い合わせ先】

大学院人間社会科学部 人間総合科学プログラム  
上廣応用倫理学講座  
担当：兼内伸之介（特任学術研究員）  
TEL: 082-424-6594 FAX: 082-424-6990

